

# 市民に愛される 国立のために！

ムダ遣いの大型開発をやめ、  
「市民のためのまちづくり」への転換をめざす要請 一万人署名に  
あなたのご協力を。

## Discover Kunitachi

「市民のためのまちづくり」は  
市民の世論で築きましょう

国立駅南側のロータリーの機能と美しい景観は、今のまま生かす方向に進んでいます。  
(市報1月20日号掲載)

これは、「市民のためのまちづくり」の世論の反映です。  
153億円の大型開発と税金などの値上げの見直しを求め さらに署名をすすめてみましょう。



ムダ遣いの大型開発をやめ、  
「市民のためのまちづくり」への転換をめざす署名推進センター

赤松宏一 生島久代 大橋菜緒子 長内敏之 尾張美也子 川口智久  
木島香織 澤登敬子 高原幸雄 田村きみ 藤田貴裕 水沼善介  
連絡先 tel 572-0306 (赤松)

E-mail: [discoverkunitachi@gmail.com](mailto:discoverkunitachi@gmail.com)

URL: <http://discoverkunitachi.web.fc2.com>

# 「市民に愛される国立」に

## 3・4・10号線道路延長・国保税などの値上げは必要でしょうか？

### ロータリーは残ります！ では何のための「3・4・10号線」延長なのでしょう？

市報(1月20日号)に掲載されたように、市民の世論に沿い、国立駅南口のロータリー機能と景観が守られるなら「市民に愛される国立」にふさわしい駅前となるでしょう。

そして、駅前に車を入れないという目的のために計画された都市計画道路「3・4・10号線」延長(35億円)が本当に必要か？今こそ改めて考える“時”ではないでしょうか？

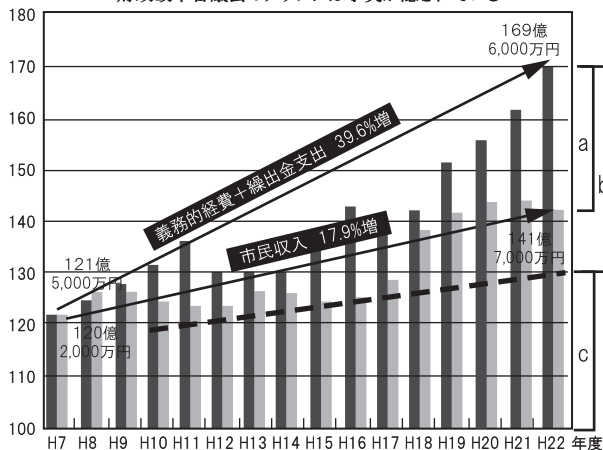
### いつわりの図表(市報・平成24年9月20日号)のカラクリ

市の財政改革審議会は、中間答申で『国立駅周辺まちづくり』計画をそのまま進めれば、累積赤字で財政破綻する」という理由を挙げ、税金・公共料金の値上げが必要と述べました。これは言い換えれば、この大型開発計画を見直せば、値上げは不必要ということになるでしょう。

また、市報に載せた図表(下図参照)で、「義務的経費+繰出金支出」が「市税収入」より約30億円も上回るから値上げが必要としています。しかし、義務的経費(生活保護費・子ども手当等)は国と都からも支出されており、その金額は平成23年度で約40億円です。この額を差し引けば、市の負担は市税収入を約10億円下回ることになり(下図点線)、値上げの理由として不適切と考えられます。

市報に掲載されたグラフには市民を値上げに誘導するための、このようなカラクリが仕込まれています。

億円  
財政改革審議会のグラフには事実が隠されている



a、「この差の拡大が市の収支悪化の原因」と説明し、公共料金の値上げの理由としている

b、義務的経費の扶助費のうち国、都の支出分、約40億円

c、義務的経費の扶助費のうち国、都の支出分を差し引いた国立市の支出分と繰出金、約130億円は市税収入を下回り、公共料金などの値上げの理由にはならない

### 国立市の「財政健全度」は全国787市の44位(東洋経済調べ)

東洋経済の「データパック」(平成24年7月)で、国立市は市民税の収納率が高く「財政健全度」は全国787市の中で44位と位置づけています。

多くの市民が求めている大型開発「国立駅周辺まちづくり」を見直すことが求められているのではないのでしょうか？

## 市民のいのちと暮らしを脅かす国保税などの値上げはやめさせましょう！

国立市の国民健康保険加入者(15,090世帯、20,363人)の78%は所得200万円以下です。

国民健康保険税の値上げは未納者、滞納者を激増させるでしょう。